

# 日本農業気象学会 2007 年度総会議事要旨

日 時：2007 年 9 月 11 日（火） 15:00～17:00

場 所：東京農工大学 農学部 東京農工大学本館 2 階 21

開会

会長（清野）挨拶

議長に大場和彦会員（九州支部）を選出

## I . 2006 年度活動報告

- 1.1 2006 年度事務・事業報告（別掲「2006 年度事務・事業報告」参照）
- 1.2 2006 年度一般会計報告（別掲「2006 年度一般会計決算報告」参照）
- 1.3 会計監査報告（別掲「会計監査報告書」参照）
- 1.4 2007-2008 年度役員選出状況（別掲「2007-2008 年度役員選出状況」参照）

## II . 審議事項

- 2.1 2006 年度剰余金処分案（別掲「剰余金処分」参照） 提案どおり承認。
- 2.2 2007 年度事業計画案（別掲「2007 年度事業計画」参照） 提案どおり承認。
- 2.3 2007 年度一般会計予算案（別掲「2007 年度一般会計予算」参照） 提案どおり承認。
- 2.4 名誉会員の推薦（別掲「名誉会員推薦書」参照） 提案どおり承認。
- 2.5 日本農業気象学会会則改正案（別掲「日本農業気象学会会則改正」参照） 提案どおり承認。

議長 解任

## III . 授与式及び日本農業気象学会賞受賞記念講演

名誉会員表彰（高倉直会員）

日本農業気象学会賞授賞

学術賞（今 久会員）

普及賞（大場和彦会員）

論文賞（千脇健司会員，長森茂之会員，井上吉雄会員，

安田幸生会員，渡辺力会員，大谷義一会員，溝口康子会員）

奨励賞（檀浦正子会員）

永年功労会員表彰

（長野敏英会員，神近牧男会員）

記念講演（今久会員，大場和彦会員）

閉会

## 2006 年度事務・事業報告

### 1. 役員等の交代（敬称略）

- 1) 2006 年度札幌大会終了に伴う山田理事の任期満了・退任。
- 2) 会長指名により沖会員が理事に就任（講演企画委員会副委員長，2008 年全国大会担当）
- 3) 会長指名により王会員が理事に就任（選挙管理担当）。
- 4) 学会賞審査委員長に互選で蔵田会員が就任
- 5) 永年功労会員表彰審査委員長に互選で岡田会員が就任。
- 6) 鮫島良次会員，王秀峰会員，平野高司会員に選挙管理委員を委嘱。互選により鮫島委員が委員長に就任。

### 2. 会員数の動向（2007 年 4 月 30 日現在）

正会員	679 (+14)	(内外国 10)
学生会員	73 (-22)	(内外国 1)
購読会員	138 (-9)	(内外国 2)
賛助会員	36 (+1)	
名誉会員	5 (0)	
外国特別会員	70 (+13)	
合計	1001 (-3)	

( )内は 2006 年 4 月 30 日からの増減数。

### 3. 研究会・講演会等の開催

- 1) 全国大会およびシンポジウムの開催：農業環境工学関連 7 学会（日本植物工場学会，日本農業気象会，日本生物環境調節学会，農業情報学会，農業機械学会，農業施設学会，生態工学会の 7 学会）合同大会の開催，2006 年 9 月 11～15 日，北海道大学 札幌キャンパス人文社会科学総合教育研究棟，発表課題数 718 課題，シンポジウム「バイオマス利用による地球温暖化防止」，大会参加者 948 名
- 2) 2006 年春季大会およびシンポジウムの開催：農業気象学会単独で開催，2006 年 4 月 4 日，千葉大学園芸学部，発表課題数 53 課題，シンポジウム「既に始まった気候変動に日本の食料システムはどう適応するか」，大会参加者 132 名
- 3) 2007 年春季大会およびシンポジウムの開催：農業気象学会単独で開催，2007 年 3 月 28 日～30 日，石垣市民会館（沖縄県），口頭発表 82 課題，シンポジウム「東南アジアから見る九州沖縄農業の多様性と持続的発展」，大会参加者約 120 名
- 4) 総会：2006 年 9 月 13 日，北海道大学 札幌キャンパスにて開催
- 5) 評議員会：2006 年 9 月 12 日，北海道大学 札幌キャンパスにて開催
- 6) 理事会：2006 年 4 月 6 日，6 月 5 日，7 月 28 日，12 月 7 日に東京大学で開催。9 月 14 日に北海道大学で開催。

- 7) 編集委員会：（別項「活動報告」参照）
- 8) 学会賞審査委員会：（別項「審査結果報告」の通り）
- 9) 永年功労会員表彰審査委員会：（別項「審査委員会報告」参照）
- 10) 支部活動（別項「活動報告」参照）
- 11) 研究部会（別項「活動報告」参照）
- 12) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等（開催順）
  - (1) 農業機械学会主催の「2006年度シンポジウム フードテクノロジー(フーテック)フォーラム」（2006年6月8日）を協賛
  - (2) 日本学術会議農学合同委員会・九州大学大学院農学研究院シンポジウム「災害社会環境の中での安心・安全と癒し」（2006年7月12日，九州大学）を開催
  - (3) 国際園芸技術展（2006年7月25～27日）を協賛，施設園芸部会が展示ブースに出品
  - (4) 国際自動制御連合(IFAC)主催の第3回国際ワークショップ「Bio-Robotics III」（2006年9月9日～10日）を協賛
  - (5) 日本流体力学会（2006年9月15日～17日，九州大学）を協賛
  - (6) SHITA シンポジウム（日本植物工場学会主催，2007年1月25日）を協賛，
  - (7) 日本農業気象学会セミナー「屋上緑化，都市緑化におけるセンサ・計測」（2006年4月7日，東京ビッグサイト）を開催

#### 4. 学会誌等の出版

会誌「農業気象」：第62巻2号～第63巻1号

会誌「生物と気象」：第6巻2号～第6巻4号

#### 5. 各種事業の推進

##### 1) 財政健全化，事務の簡素化などの推進

- (1) 財務対策として，学会誌刊行経費を圧縮。このため，2007年度の「農業気象」に論文と科学的読み物（講座，解説記事等）掲載と迅速な出版，J-STAGE 編集システムの活用，「生物と気象」誌の2007年度からの学会からのお知らせ記事等のホームページ化に向けて準備。
- (2) 学会誌刊行経費の圧縮で浮いた経費は，会計事務委託等の事務経費と，部会補助・ミニ国際シンポジウム開催等の学会活性化のため資金として利用。
- (3) 生物と気象のホームページ上の e-journal 化，刷新した新会誌農業気象の発行は2007年度から開始。会誌農業気象の e-journal 化は，J-STAGE による公開で当面代替。その場合，印刷物よりも迅速な公開に向け準備。
- (4) ミニ国際シンポジウム開催等のイベントあるいは学会誌の特集記事等に興味を持つ若手会員を地域に因らず会長指名の理事に登用するため各理事に推薦依頼して名簿作成。
- (5) 2007年から会費を値上げ。会費の値上げ幅は，正会員で2000円，学生会員で500円，他会員は据置。会誌の販売価格は据置。会誌，HP等で広報。

- (6)各種事務連絡等のホームページへの移行，ホームページによる各種広報，学会ホームページのリニューアル，メーリングリスト(登録者割合，60%弱)によるサービス促進
- (7)シルバー会員制度の導入の検討。基金積み増しのための募金者の優遇措置(60歳以上，10万円以上で，春季大会無料参加)
- 2)会誌「農業気象」の発行(第62巻2号～第63巻1号)
- 3)会誌「生物と気象」の発行(第6巻2号～第6巻4号)，第7巻以降は電子化予定。
- 4)日本農業気象学会賞の審査及び授与
- 5)日本農業気象学会永年功労会員の審査及び表彰
- 6)日本農学賞等の候補者の推薦
- 7)支部大会等の推進(別項「活動報告」参照)
- 8)「研究部会」，「若手研究者の会」等の推進(別項「活動報告」参照)
- 9)特別委員会の開催(別項「特別委員会等の設置と活動」の通り)
- 10)日本農学会，日本農業工学会，フェデレーションの活動を推進，日本学術会議協力研究団体の申し込みと日本学術会議第20期関連の活動に協力，学術会議ニュースの理事への配信，日本技術者教育認定機構(JABEE)プログラムの推進
- 11)日本地球惑星科学連合に加盟
- 12)他学会との共催，協賛，後援などを推進
- 13)受託研究の受け入れ
- 14)国際会議出席渡航補助(2件)，各種賞について会員へ推薦依頼，各種公募研究の案内
- 15)学会の将来の活動方向と学会名についての検討に着手
- 16)日本農業工学会フェローに上村賢治会員(元東京大学教授・元日本大学教授)を推薦し，承認
- 17)2006年春季大会の企画と実施ならびに参加者アンケート調査の実施。
- 18)2007年春季大会の企画と実施
- 19)測器ガイドブックの改訂版(Web版)の新構想に基づく作成準備
- 20)セミナー講師派遣(野菜ビジネス協議会)
- 21)学会賞等の副賞について討議
- 22)その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

## 6. 学会賞審査委員会，永年功労会員表彰審査委員会報告および投票結果報告

### 1)2006年度日本農業気象学会賞の審査および授賞者の決定

推薦書の様式をHPに掲載して，HP上で公募。2007年7月2日付で，学会賞審査委員長の蔵田憲次理事より審査結果が報告され，規約に従い，評議員，理事の投票により下記の会員の受賞が決定。

学術賞：今 久会員

耕地気象の改善に関する基礎的研究

普及賞：大場和彦会員

大規模畑地かんがい地域の水需要構造に関する農業気象学的研究とその

普及

論文賞：千脇健司会員，長森茂之会員，井上吉雄会員

「Predicting bacterial wilt disease of tomato plants using remotely sensed thermal imagery」，61(3),153-163

論文賞：安田幸生会員，渡辺力会員，大谷義一会員，溝口康子会員

「渦相関法によって生態系呼吸速度を評価する際の問題点－間欠的な乱流状態下での摩擦速度補正について－」，61(3),177-187

奨励賞：檀浦正子会員

「京都府南部広葉樹林において短期間に測定された根呼吸量の土壌呼吸量に対する寄与の評価」，62(1),15-21

## 2)2006年度永年功労会員の審査および表彰者の決定

推薦書の様式をHPに掲載して，HP上で公募。2007年6月18日付で，永年功労会員表彰審査委員長の岡田益己理事より審査結果が報告され，評議員，理事の投票により下記の会員の受賞が決定。

長野敏英 会員（関東支部所属）

神近牧男 会員（中国四国支部所属）

## 7. 特別委員会等の設置と活動

### 1)学会の在り方委員会（委員長：大政謙次理事）

財務問題が今後の在り方に大きく影響するため，推移を注視するとともに，理事会と共同して多面的に検討した。

### 2)企画公演委員会（委員長：井上君夫理事，沖一雄理事）

2006年春季大会の企画と実施およびアンケートの実施。

## 8. 関連学協会委員（敬称略）

日本農学会（清野豁，真木太一，大原源二）

日本農業工学会（真木太一，長野敏英，佐瀬勘紀，羽生広道）

農業環境工学系学会連盟（清野豁，早川誠而）

日本地球惑星科学連合（山川修治，林陽生，鳥谷均）

JABEE担当（松岡延浩）

## 9. 2006年度 編集委員会活動報告

### 1)編集委員会の開催

第1回 2006年6月1日 東京大学農学部

第2回 2006年9月12日 北海道大学札幌キャンパス

第3回 2006年12月4日 東京大学農学部

第4回 2007年3月2日 東京大学農学部

### 2)「農業気象」，「生物と気象」の発行

「農業気象」62巻2～4号，63巻1号

研究論文10編（うち英文7編），短報2編

(うち英文 1 編) , 総説 1 編 (うち英文 0 編) , 資料 1 編, その他  
「生物と気象」6 巻 2~4 号, 7 巻以降は電子化して学会ホームページ上  
で公開

講座 2 編, 国際会議報告 1 件, 研究部会報告 1 件

3) J-Stage で公開

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/agrmet/-char/ja/> で「農業気  
象」を公開

4) 会誌出版の見直し

「生物と気象」を電子化して学会ホームページ上で公開することに伴い,  
会誌内容の見直しを行った。オリジナリティがある記事は「農業気象」に,  
それ以外の講座, 解説, 研究紹介・支部報告・研究部会報告などの会員に  
限らず広く有用な情報を「生物と気象」電子版として公開することを決め  
た。

10. 支部および部会活動報告

1) 2006 年度支部活動報告

\*2006 年 4 月 30 日現在

支部名	研究会・講演会・出版物	支部会員(*)
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（研究発表 11 件，講演会「気象庁が今年度から取り組む異常気象情報について」，総会）：2006 年 12 月 5 日，北海道大学百年記念会館（札幌市），参加者約 60 名</li> <li>「北海道の農業気象」第 58 号</li> </ul>	正会員：55 学生会員：11 購読会員：9 合計：75
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（研究発表 10 件，総会，シンポジウム「生物の温度・ストレス反応」－最近の話題から－）：2006 年 11 月 11 日～12 日，岩手大学上田キャンパス・学生センター棟（岩手県盛岡市），参加者 18 名，シンポジウム参加者 97 名</li> <li>「東北の農業気象」第 51 号</li> </ul>	正会員：56 学生会員：1 購読会員：13 合計：70
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（研究発表 6 件，講演会「新しい観測機器とその活用法」，総会）：2006 年 12 月 8 日，研究交流センター（茨城県つくば市），参加者 69 名</li> <li>「関東の農業気象」第 32 号</li> </ul>	正会員：247 学生会員：33 購読会員：40 合計：320
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（研究発表 4 件，講演会「石川の水環境－降水・渓流水・湖沼水」，総会）：2006 年 11 月 11 日，石川県女性センター（石川県金沢市），参加者 10 名</li> <li>「日本農業気象学会北陸支部会誌」第 32 号</li> </ul>	正会員：24 学生会員：1 購読会員：7 合計：32
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏期集会（総会，シンポジウム「農業における高温の影響と対策」，見学会（風力発電所，燃料電池イチゴ栽培施設））：2006 年 9 月 29 日～30 日，三重県科学技術振興センター（松坂市），伊賀市内，鈴鹿市内，参加者 12 名</li> <li>支部大会（近畿支部と合同）（研究発表 13 件，見学会（豪雪地域の耐雪ハウスと雪害被害モモ樹園））：2006 年 12 月 8 日～9 日，古川町総合会館（岐阜県飛騨市古川町）ほか，参加者 31 名</li> <li>「東海支部会誌」第 65 号</li> </ul>	正会員：55 学生会員：5 購読会員：9 合計：69
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業気象学会東海支部・近畿支部合同大会，2006 年 12 月 8 日～9 日，飛騨市古川町総合会館，参加者 31 名</li> </ul>	正会員：77 学生会員：7 購読会員：17 合計：101
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（一般研究発表 23 件，シンポジウム「農業気象ができる地域貢献」，総会）：2006 年 12 月 14～15 日，山口県教育会館（山口市），参加者 60 名</li> <li>「中国・四国の農業気象」第 19 号</li> </ul>	正会員：75 学生会員：10 購読会員：24 合計：109
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（一般研究発表 33 件，シンポジウム「集中豪雨の気象災害が農業生産に及ぼす影響と改善対策(4 題)」，総会）：2006 年 11 月 30 日～12 月 1 日，沖縄県農業研究センター会議室（沖縄県糸満市），参加者 50 名，日本生物環境調節学会九州支部との合同大会</li> <li>「九州の農業気象Ⅱ輯 15 号(論文：4 題，講演要旨：33 課題，特別講話：4 題)」</li> </ul>	正会員：64 学生会員：26 購読会員：23 合計 113

2) 2006 年度部会活動報告

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング ・GIS 研究部会 部会長：大政 謙次 設立：2000 年 12 月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院・農学生命科学研究 科 清水 庸 Tel 03-5841-8101 Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	2006 年合同大会にてオーガナイズドセ ッション開催「農業・環境リモートセン シング」, 2006 年 9 月 12 日, 北海道大学, 参加者約 60 名
フラックス観測研究 部会 部会長：大谷 義一 設立：2004 年 4 月	〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字 鍋屋敷 92-25 森林総合研究所東北支所・森林環境 研究グループ 安田幸生 Tel:019-648-3952 Fax: 019-641-6747 E-mail: yassan@ffpri.affrc.go.jp	オーガナイズドセッション「異なるフラ ックス評価手法の比較から見えてきた問 題と明らかになったこと」, 2006 年 9 月 12 日, 北海道大学, 参加者約 60 名
気候変化影響研究部 会 部会長：清野 裕 設立：1994 年 6 月	〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領 域 西森基貴 Tel: 029-838-8236 Fax: 029-838-8199 E-mail: mnishi@niaes.affrc.go.jp	2007年9月を以って廃止
生態系プロセス研究 部会 部会長：小林 和彦 設立：2003 年 7 月	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所・大気環境研究 領域 桑形恒男 Tel: 029-838-8202 Fax: 029-838-8211 E-mail: kuwa@affrc.go.jp	「地球温暖化の実態とそれが生態系と 農業活動に及ぼす影響」に関する研究 会, 2006 年 9 月 11 日 10:00~17:00, (共 催：独立行政法人農業・食品産業技術総 合研究機構北海道農業研究センター, NPO 法人グリーンテクノバンク), 北海 道農業研究センター, 参加者：約 100 名
園芸工学研究部会 部会長：佐瀬勘紀 設立：2006 年 6 月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843 Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	オーガナイズドセッション「競争力をも つ施設植物生産－施設園芸・植物工場の 進展と課題－」2006 年 9 月 12 日, 北海 道大学, 参加者：約 100 名 研究集会, 2007 年 3 月 28 日, 石垣市民 会館, 参加者約：40 名
若手研究者の会	〒680-0001 鳥取県鳥取市浜坂 1390 鳥取大学乾燥地研究センター 高山 成 Tel: 0857-21-7256 Fax: 0857-29-6199 E-mail: tnaru@alrc.tottori-u.ac.jp	2006 年度研究会「若手研究者は今後のキ ャリアに農業気象研究をどう生かすか？ ～エネルギー・環境ビジネスを例に先輩 のキャリアに学ぶ～」, 2006 年 9 月 12 日 (火) 18:00-20:00 北海道大学人文 社会科学総合教育研究棟 W408 室, 参加者 ：29 名



# 2006 年度一般会計決算報告

## 1. 収入

科目	予算額	決算額	備考
<b>学会費</b>	<b>6,940,000</b>	<b>7,454,995</b>	延べ人数(2007年1月末数)
正会員	4,309,500	4,949,000	755名(630名)
学生会員	304,500	242,500	69名(67名)
購読会員	1,216,000	1,063,820	133名(141名)
賛助会員	1,110,000	1,169,475	39名(35名)
外国会員	0	30,200	5名(15名)
<b>売上金</b>	<b>2,020,000</b>	<b>1,645,635</b>	
養賢堂(含む書店)	530,000	489,600	
掲載料・別刷り	1,430,000	1,117,035	
バックナンバー	60,000	39,000	
<b>雑益費</b>	<b>1,060,300</b>	<b>1,550,250</b>	
広告料	460,000	333,750	
利息	300	4,340	
その他	600,000	1,212,160	2006合同大会返金分¥650,000とAPGC2004組織委員会¥500,000を含む
<b>前年度繰越金</b>	<b>0</b>	<b>-1,286,704</b>	
<b>学会基金の取り崩し</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	
<b>事業準備金の取り崩し</b>	<b>0</b>	<b>1,286,704</b>	坪井基金¥490,000を含む
<b>合計</b>	<b>11,020,300</b>	<b>11,650,880</b>	
<b>単年度合計</b>	<b>10,020,300</b>	<b>10,650,880</b>	学会費+売上金+雑益費※

2007年2月末日精算にて計算

※2006年度の単年度収入合計は、10,650,880円であったが、会費収入の内の100万円程度は過去の未回収分であり、雑益費(その他)での合同大会返金とAPGC2004組織委員会からの約100万円)があったことと、支出面で学会誌発行業務にておよそ150万円の節減がなされたことによる。

<b>収入合計</b>	<b>11,650,880</b>
<b>支出合計</b>	<b>8,140,822</b>
<b>剰余金</b>	<b>3,510,058 ※※</b>

※※剰余金が約350万円となった理由は、収入面で約200万円の一時的な増収(学会費の過去の未回収分がおよそ100万円、雑益費(その他)での合同大会返金とAPGC2004組織委員会からの約100万円)があったことと、支出面で学会誌発行業務にておよそ150万円の節減がなされたことによる。

## 3. 資産など

### 資産の部

現金	会計理事預り分	360,471
普通預金	三井住友	2,161,342
"	みずほ	2,945,920
"	関東つくば	662,241
振替貯金		2,089,658
定期預金	三井住友	2,166,356
<b>資産の部計</b>		<b>10,385,988</b>

### 負債の部

未払金	養賢堂へ	3,416,879
理事開催費	理事立替金	338,710
庶務理事	庶務経費立替金	17,718
<b>負債の部計</b>		<b>3,773,307</b>

## 2. 支出

科目	予算額	決算額	備考
<b>学会誌発行業務</b>	<b>6,570,000</b>	<b>5,017,104</b>	農業気象62(1)-(4)、生物と気象 6(1)-(4)。前倒し節減により当初予算より少ない決算額となった。
印刷・製本・別刷り費	5,800,000	3,737,024	
発送費	410,000	310,930	
編集費	360,000	969,150	
<b>総大会費</b>	<b>549,000</b>	<b>500,000</b>	
大会運営費	500,000	500,000	2006年合同大会
大会事務費	49,000	0	
<b>学会賞費</b>	<b>40,000</b>	<b>48,300</b>	
<b>永年功労賞費</b>	<b>60,000</b>	<b>2,860</b>	
<b>会計業務委託費</b>	<b>1,760,000</b>	<b>1,653,411</b>	
会員業務	1,035,000	945,711	
会計業務委託費	450,000	441,000	
その他窓口業務	275,000	266,700	
<b>理事会開催費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>庶務理事経費</b>	<b>50,000</b>	<b>58,313</b>	
<b>会計理事経費</b>	<b>70,000</b>	<b>85,354</b>	銀行FAX代等を含む
<b>支部補助費</b>	<b>225,000</b>	<b>218,400</b>	
<b>部会・研究・渡航補助費</b>	<b>130,000</b>	<b>150,000</b>	
フラックス観測研究会	0	0	
リモートセンシング・GIS研究会	0	0	
生態系プロセス研究部会	0	0	
園芸工学研究部会	0	0	
若手研究者の会補助費	30,000	0	
渡航費補助	100,000	150,000	1名(5月)、1名(10月)
<b>関連団体分担金</b>	<b>244,000</b>	<b>243,500</b>	
農学会費	94,000	93,500	
農業工学会費	50,000	50,000	
日本技術者教育認定費	100,000	100,000	
<b>ホームページ作成外部委託</b>	<b>150,000</b>	<b>150,000</b>	
<b>会員名簿</b>	<b>39,200</b>	<b>0</b>	学会誌に含む
<b>予備費</b>	<b>1,133,100</b>	<b>13,580</b>	施設園芸展のバイト代
<b>合計</b>	<b>11,020,300</b>	<b>8,140,822</b>	

### 財産の部

学会基金	1,300,000
事業準備金	1,626,123
本年度収支差異	3,510,058
<b>財産の部計</b>	<b>6,436,181</b>

### その他

春季大会参加費※	176,500
<b>その他</b>	<b>176,500</b>

### 負債・財産合計

**10,385,988**

※春季大会事務局の財産、本部振替口座を利用して参加費・懇親会費を徴収した通過会計。

# 会計監査報告

平成 19 年 6 月 5 日

## 会計監査報告書

日本農業気象学会  
会長 清野 裕 殿

日本農業気象学会  
会計監査 長谷川利拡  
朝倉 利員

日本農業気象学会 2006 年度（2006 年 3 月 1 日～2007 年 2 月 28 日）会計監査を行った結果を報告する。奥島里美会計理事により示された会計書類について、質疑応答を交えながら調査したところ、帳簿や証拠書類は正確に記載され、誤りなく出納されていることを確認した。以上をここにご報告申し上げます。

### 会計監査におけるコメント

1. 春季大会参加費・懇親会費については、本部の振替口座を徴収に利用しているだけなので、決算報告には入れないこと。ただし、「資産など」の項目で出納は明確にしておくこと。
2. 単年度収支で見ると危機的状況にあった会計収支がかなり改善されている。学会費の値上げに伴う収入の動向等を踏まえ、引き続き、安定的な運営に向けた努力が必要である。

## 2007-2008 年度役員の選出状況

### 1. 選挙管理委員会の設置

鮫島良次会員を選挙管理委員長，王 秀峰理事と平野高司会員を委員とする選挙管理委員会を組織。

### 2. 次期役員等名簿（敬称略）

#### 名誉会員

三原義秋，矢吹萬寿，羽生寿郎，久保祐雄，内嶋善兵衛，高倉直  
顧問

古在豊樹，高倉直，堀口郁夫，中山敬一，鈴木義則，真木太一，  
長谷川壽一，笹尾彰，生物環境工学会長，生態工学会長  
（他 1 名に依頼中）

会 長：蔵田憲次

副会長：青木正敏

#### 支部長

北海道：浦野慎一

東北：岡田益己

関東：今 久

北陸：関 平和

東海：岩尾憲三

近畿：北宅善昭

中国・四国：田中丸重美

九州：大場和彦

#### 支部選出理事

北海道：平野高司

東北：皆川秀夫

関東：大政謙次，小林和彦，後藤英司，井上君夫

北陸：横山宏太郎

東海：田中逸夫

近畿：町村尚

中国・四国：荊木康臣，菅谷 博

九州：小沢 聖，脇水健次

#### 会長指名理事

清野 豁，富士原和宏，大原源二，宮田 明，大野宏之，王 秀峰，  
朝倉利員，松岡延浩，沖 一雄，北野雅治，渋谷俊夫

#### 評議員

北海道：谷 宏，廣田知良，鮫島良次

東北：多田 久，渡辺 明，川方俊和

関東：岡野利明，林 陽生，鳥谷 均，横山 仁，高田吉治，本條 毅，  
今 久，野内 勇，石田朋靖、杉浦俊彦、佐瀬勘紀

北陸：関 平和，小田切文朗

東海：林 真紀夫，岡田邦彦，高市益行

近畿：青野靖之，桜谷保之，須藤健一，鱧谷 憲  
中国・四国：大上博基，黒瀬義孝，鈴木晴雄，山本晴彦  
九州：石黒悦爾，武政剛弘，田中 明，筑紫二郎

#### 学会賞審査委員

真木太一（委員長）  
大政謙次，岡田益巳，大場和彦，井上君夫，小林和彦，浦野慎一，  
小沢聖，後藤英司，今久，早川誠而，横山宏太郎，大原源二，菅野洋光，  
北宅善昭

#### 永年功労表彰審査委員

井上君夫（委員長）  
岡田益巳，干場信司，井上君夫，高田吉治，長野敏英，林 陽生，  
皆巳幸也，岩尾憲三，鱧谷 憲，西川 敦，山本晴彦，武政剛弘，  
平木永二

#### 会計監査

寺添 齊，長谷川利拡

#### 編集委員会

小林和彦（委員長）  
荊木康臣，松岡延浩，町村 尚（編集理事）渡辺 力，伊藤大雄，  
小南靖弘，嶋津光鑑，青野靖之，松村伸二，下町多佳志，清水 庸，  
横山 仁，奥矢明子，安田幸生，浅沼 順，山川修治，米村正一郎，  
酒井英光，木村玲二，濱本 浩，濱寄孝弘

#### 特別委員会

広報・企業担当委員会：青木正敏（委員長）  
ホームページ担当委員会：渋谷俊夫（委員長）  
企画講演委員会：沖 一雄（委員長）  
学会の在り方委員会：大政謙次（委員長），北野雅治（副委員長）

#### 関連学協会役員

日本農学会  
評議員：蔵田憲次，青木正敏  
運営委員：富士原和宏  
日本農業工学会  
会長：真木太一  
代議員：佐瀬勘紀，長野敏英  
国際代議員：羽生広道  
農業環境工学系学会連盟委員  
蔵田憲次，青木正敏  
地理関連学会連合委員

山川修治  
日本地球惑星科学連合  
評議員：蔵田憲次  
窓口委員：山川修治  
教育問題委員：林陽生  
国際委員：鳥谷均

## 2007 年度事業計画

### 1. 各種事業の推進

- 1) 財政健全化，事務の簡素化などの推進
- 2) 全国大会およびシンポジウムの開催：5学会 2007 年合同大会（日本農業気象会，農業情報学会，農業機械学会，農業施設学会，生態工学会の 5 学会）の開催，2007 年 9 月 11 日～14 日，東京農工大学農学部
- 3) 2007 年度総会の開催：9 月 11 日，東京農工大学農学部
- 4) 2007 年度評議員会の開催：9 月 11 日，東京農工大学農学部
- 5) 2007 年度理事会の開催：2007 年 4 月 4 日，7 月 6 日に東京大学で開催。9 月 12 日に東京農工大学農学部で開催。
- 6) 会誌「農業気象」の発行（第 63 巻 2 号～第 64 巻 1 号）
- 7) 会誌「生物と気象」の発行，第 7 巻以降は電子化して HP 上に掲載
- 8) 日本農業気象学会賞の審査及び授与（3 月に合わせ半年繰り上げペース）
- 9) 日本農業気象学会永年功労会員の審査及び表彰（3 月に合わせ半年繰り上げペース）
- 10) 日本農学賞等の候補者の推薦
- 11) 支部大会等の推進（詳細は別表「2007 年度支部活動予定」）
- 12) 「研究部会」，「若手研究者の会」等の推進（詳細は別表「2007 年度部会活動予定」）
- 13) 特別委員会の開催
- 14) 日本農学会の活動を推進（平成 20 年度シンポジウム，2008 年 10 月 11 日，東京大学弥生講堂，テーマ：農学領域における地球温暖化対策への取り組み）
- 15) 日本農業工学会
- 16) 日本学術会議第 20 期関連の活動に協力
- 17) 日本地球惑星科学連合の活動に参加
- 18) フェデレーションの活動を推進
- 19) 他学会との共催，協賛，後援などを推進（国際生気象学会（2008 年 9 月）を協賛，岩大の冷害シンポジウムの共催・第 3 回国際 O-CHA 学術会議（2007 年 11 月 2-4 日）の後援）
- 20) 受託研究の受け入れ
- 21) 国際会議出席者の推薦，国際研究交流の推進
- 22) 学会の将来の活動方向と学会名を引き続き検討
- 23) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

## 2. 全国大会等の開催予定

2008年全国大会（主催：本部）

会場：海峡メッセ下関（下関市）

会期：2008年3月20日～22日

	午前	昼食時	午後	夜
3月20日（木）	登録受付 一般研究発表		一般研究発表	評議員会 ナイトセッション
3月21日（金）	一般研究発表 Registration		総会 一般公開シンポジウム 合同ポスター発表（poster session）	合同懇親会 （Banquet）
3月22日（土）	Invited lecture Oral session	理事会	Oral session Closing Ceremony	

シンポジウムは「施設園芸における環境調節の新たな展開」

ミニ国際シンポジウムを開催，招待講演者としてRichard G. Allen氏を予定。

### 3. 支部および部会活動予定

#### 1) 2007 年度支部活動予定

\*2007 年 4 月 30 日現在

支部名	研究会・講演会・出版物	支部会員(*)
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（研究発表，講演会）：2007 年 11 月 28～29 日，帯広市とからプラザ</li> <li>「北海道の農業気象」第 59 号発行予定</li> </ul>	正会員：52 学生会員：7 購読会員：9 合計：68
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（研究発表，総会）：2007 年 11 月 8～9 日，福島県農業総合センター開催予定，温度計測セミナー：10 月か 11 月に予定</li> <li>「東北の農業気象」第 52 号</li> </ul>	正会員：54 学生会員：1 購読会員：10 合計：65
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2007 年 12 月 7 日 東京都環境科学研究所（東京都江東区）</li> <li>「関東の農業気象」第 33 号発行予定</li> </ul>	正会員：272 学生会員：25 購読会員：40 合計：337
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2007 年 11 月 28 日，会場未定（富山県富山市）</li> <li>「日本農業気象学会北陸支部会誌」第 33 号</li> </ul>	正会員：23 学生会員：0 購読会員：6 合計：29
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（総会，研究発表会，シンポジウム）：2007 年 12 月 8 日，名古屋工業大学（名古屋市）</li> <li>「東海支部会誌」第 66 号</li> </ul>	正会員：52 学生会員：5 購読会員：7 合計：64
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業気象学会近畿支部大会，2007 年 12 月 22 日，大阪府立大学</li> <li>2007 年度日本農業気象学会近畿支部大会講演要旨</li> </ul>	正会員：76 学生会員：7 購読会員：18 合計：101
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（一般研究発表，総会）：2007 年 12 月 7～8 日，岡山大学環境理工学部（岡山市），</li> <li>「中国・四国の農業気象」第 20 号</li> </ul>	正会員：79 学生会員：7 購読会員：23 合計：109
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部大会（一般研究発表，総会）：2007 年 11 月 30 日～12 月 1 日，場所：鹿児島大学農学部，生物環境工学会九州支部と合同，シンポジウム等の内容は未定</li> <li>「九州の農業気象Ⅱ輯」16 号</li> </ul>	正会員：61 学生会員：20 購読会員：25 合計 106



## 2) 2007 年度部会活動予定

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング ・GIS 研究部会 部会長：大政 謙次	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院・農学生命科学研究科 清水 庸 Tel: 03-5841-8101 Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	農業環境工学関連学会 2007 年合同大会 にてオーガナイズドセッションを開催 予定「農業・環境分野におけるマルチス ケールリモートセンシング」
フラックス観測研究 部会 部会長：大谷 義一	〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字 鍋屋敷 92-25 森林総合研究所東北支所・森林環境 研究グループ 安田幸生 Tel:019-648-3952 Fax: 019-641-6747 E-mail: yassan@ffpri.affrc.go.jp	フラックス観測研究部会は、オーガナイ ズドセッション「フラックスのサイト間 比較による陸域生態系の統合解析」（農 業環境工学関連学会 2007 年合同大会）と 連携して活動予定。 2007 年 9 月で廃止
生態系プロセス研究 部会 部会長：小林 和彦 設立：2003 年 7 月	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所・大気環境研究 領域 桑形恒男 Tel: 029-838-8202 Fax: 029-838-8211 E-mail: kuwa@affrc.go.jp	オーガナイズド・セッション「変化する 東アジアの大気と農業」（仮タイトル）、 2008 年 3 月の全国大会で開催予定。
園芸工学研究部会 部会長：佐瀬勘紀	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843 Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	オーガナイズドセッション「高度施設園 芸生産のための園芸工学的アプローチ」 2007 年 9 月 12 日、東京農工大学 ISHS Symposium on Light in Horticulture (2009 年 11 月) の開催準 備
若手研究者の会	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所・大気環境研究 領域 間野正美 Tel: 029-838-8239 Fax: 029-838-8211 E-mail: mmano@niaes.affrc.go.jp	2007 年度研究会「私の履歴書 研究者、 リーダー、一個人としての道のり」、2007 年 9 月 12 日 18:00～20:00 東京農工大 学農学部、本館 2 階 24 号室、開催予定

## 2006 年度剰余金処分

- (1) 2006年度剰余金は、3,510,058円となった。
- (2) 2006年度の一般会計から事業準備金へ1,286,704円を支出する。
- (3) 2006年度の一般会計から学会基金へ1,000,000円を支出する。
- (4) この結果、事業準備金は2,912,827円、学会基金は2,300,000円、一般会計繰越金1,223,354円とな

2006年度基本金会計

科目	予算	
学会基金	1,300,000	
事業準備金	1,626,123	
坪井基金	0	完了
	2,926,123	

2007年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	2,300,000	
事業準備金	2,912,827	
	5,212,827	

## 2007年度一般会計予算

### 1. 収入

科目	予算	備考
<b>学会費</b>	<b>7,677,500</b>	2007年4月末基数で計算。 ( )内は2007年1月末基数。
正会員	5,329,500	¥8,500*627名(639名)
学生会員	280,000	¥4,000*70名(68名)
購読会員	1,048,000	¥8,000*131名(146名)
賛助会員	1,020,000	¥30,000*34名(35名)
<b>売上金</b>	<b>1,646,000</b>	
養賢堂(含む書店)	490,000	2006年度実績489,600円
掲載料・別刷り	1,117,000	2006年度実績1,117,035円
バックナンバー	39,000	2006年度実績39,000円
<b>雑益費</b>	<b>418,000</b>	
広告料	334,000	
利息	4,000	
その他	80,000	
<b>前年度繰越金</b>	<b>1,223,354</b>	
<b>合計</b>	<b>10,964,854</b>	
<b>単年度合計</b>	<b>9,741,500</b>	

### 2. 支出

科目	予算	備考
<b>学会誌発行業務</b>	<b>5,130,000</b>	農業気象63(1)-(4)
印刷・製本・別刷り費	3,500,000	2006年度実績3,737,024円
発送費	310,000	2006年度実績310,930円
編集費	1,320,000	編集委員会+養賢堂(2006年度実績969,150円)
<b>総大会費</b>	<b>549,000</b>	
大会運営費	500,000	2006年実績
大会事務費	49,000	2006年実績
<b>学会賞費</b>	<b>410,600</b>	普及賞1, 学術賞1, 論文賞2(楮27,300円), 受賞者懇親会費
<b>永年功労賞費</b>	<b>60,000</b>	10件分
<b>会計業務委託費</b>	<b>1,654,000</b>	
会員業務	946,000	2006年度実績945,711円
会計業務委託費	441,000	2006年度実績441,000円
その他窓口業務	267,000	2006年度実績266,700円
<b>理事会開催費</b>	<b>0</b>	
<b>庶務理事経費</b>	<b>58,000</b>	2006年度実績58,313円
<b>会計理事経費</b>	<b>85,000</b>	2006年度実績85,354円
<b>支部補助費</b>	<b>353,500</b>	単価500円×707会員(正+学)。
<b>部会・研究・渡航補助費</b>	<b>250,000</b>	
リモートセンシング・GIS研究	0	辞退
フラックス観測研究部会	50,000	
生態系プロセス研究部会	50,000	
園芸工学研究部会	0	辞退
若手研究者の会補助費	50,000	
渡航費補助	100,000	5万円×2名を想定
<b>関連団体分担金</b>	<b>144,000</b>	
農学会費	94,000	2006年度実績93,500円
農業工学会費	50,000	
日本技術者教育認定費	0	退会
<b>ホームページ作成外部委託</b>	<b>300,000</b>	2006年度実績150,000円+生物と気象HP化
<b>単年度支出</b>	<b>8,994,100</b>	
<b>予備費</b>	<b>1,970,754</b>	予備費の内、学会費の滞滞分が80万円程度と想定。
<b>合計</b>	<b>10,964,854</b>	

## 名誉会員推薦書

被推薦者：高倉直（昭和12年2月7日生）

推薦者代表：蔵田憲次

東京大学大学院農学生命科学研究科

推薦理由：

高倉会員は、日本農業気象学会内に、施設園芸の環境解析・環境制御の研究という新たな流れを創出し、その流れを大きく発展させた。1965年に「農業気象」に発表した論文は、本学会内での施設園芸の環境工学的研究の嚆矢といっても過言ではなく、本学会内に施設園芸研究の新たな流れを創出することに多大な寄与をした。その後、園芸施設内気候の成立機構の理論的解析、施設内環境の制御、温室の暖房負荷の算定、施設園芸へのコンピュータ利用、作物成育の最適制御、植物工場や閉鎖生態系での環境制御など、数多くの関連分野の研究を先導的に行い、その成果は、学会誌「農業気象」をはじめ、多くの国際的なジャーナルに掲載され、関連分野の発展に多大な寄与をした。このことは直接的にも間接的にも本学会の発展に寄与し、国際的な評価を高めることにも貢献している。

組織運営面では、2期4年（昭和62年から平成2年）にわたり、学会長を務めたことをはじめ、関東支部長（昭和60-61年）、学会賞審査委員長、評議員などの重要な役職に就き、学会の発展に大きく貢献している。また、本学会内に施設園芸研究部会を中心になって組織し、関連分野の発展を先導しただけでなく、計4回の国際シンポジウムの組織や施設園芸展の組織の中核的存在として、国際化や関係企業の育成にも尽力した点は注目される。

以上のように高倉会員は学術の面でも、組織運営の面でも本学会へ計り知れない貢献をされており、名誉会員の称号にふさわしいと判断し推薦する。

推薦者（代表以外）：荊木康臣，大原源二，  
大政謙次，岡田益己，久保田智恵利，古在豊樹，  
後藤英司，小峰正史，佐瀬勘紀，島地英夫，  
嶋津光鑑，下町多佳志，庄野浩資，長野敏英，  
仁科弘重，林真紀夫，平藤雅之，本條毅，  
真木太一，皆川秀夫

## 日本農業気象学会会則改正

以下の会則の改正が承認された。

- 1)シルバー会員制度（60歳以上、各種役員等の被選挙権を放棄できる。会費は正会員の半額）の導入等に伴う会則改正。
- 2)2009年度から副会長を2名とすることに伴う会則改正。
- 3)総務担当理事を複数名とすることに伴う会則改正。

また、上記の会則の改正に関連する諸規程の変更、および永年功労会員表彰審査委員会委員長任期を現在の1年から2年にすることに伴う規程の変更が、理事会で決定された。

以下では、改正および変更箇所を下線で示す。

### 第4章 会 員

第8条（会員）この学会の会員は正会員、シルバー会員、学生会員、購読会員、賛助会員、海外特別会員および名誉会員とする。

2. 正会員はこの学会の趣旨に賛同して入会する個人とする。満60歳以上で、会則第11条に定める役員および第22条1に定める各委員会の委員に就任しない旨を学会に届け出た場合は、シルバー会員とする。

学生会員は学生の身分を有するものとする。

購読会員は会誌の配布を受けることを目的に入会する団体とする。

賛助会員はこの学会の事業を賛助する目的で入会する団体とする。

海外特別会員はこの学会の海外での普及促進を図るため、編集委員会が推薦し、理事会で認めた外国在住のものとする。

名誉会員は農業気象学の進歩に著しい貢献をした正会員およびシルバー会員のうち、理事会が推薦し、総会で承認されたものとする。

3. 正会員、シルバー会員、学生会員、購読会員および賛助会員は下記に定めた会費（年額）を前納しなければならない。

正 会 員            8,500 円

シルバー会員    5,000 円

学生会員            4,000 円

購読会員            8,000 円

賛助会員は1口30,000円を1口以上。

4. 正会員、シルバー会員、学生会員、購読会員および名誉会員は外国在住の会員を除き、細則2に定めた区域ごとの支部のいずれかに所属するものとする。

第9条（入退会および除籍）（省略）

第10条（特典）正会員、シルバー会員および学生会員は外国在住の会員を除き、次の特典がある。

- (1)総会に出席してその議事に参加すること。

- (2)研究会，講演会，談話会などに出席し，また研究発表並びに討論を行うこと。
  - (3)会誌の配布を受けること。
  - (4)会誌に投稿すること。
  - (5)日本農業気象学会賞の受賞候補者を推薦すること。
  - (6)日本農業気象学会賞の受賞候補者の推薦を受けること。
  - (7)会員名簿の配布を受けること。
  - (8)別に定めるところにより役員を選出すること。
2. 外国在住の正会員，シルバー会員および学生会員は，前項(1)から(7)の特典を持っている。
  3. 購読会員は，会誌の配布を受ける。
  4. 名誉会員は，前項(1)から(4)および(7)の特典を持っている。
  5. 賛助会員の特典は細則1に定める。
  6. 海外特別会員は，前項(2)および(4)の特典を持っている。

## 第5章 役員

第11条（役員） この学会に正会員からなる次の役員をおく。

会長1名，副会長2名，支部長各支部1名，理事若干名，評議員若干名，監査2名。

第13条（選出） 会長・副会長は別に定めるところにより選出する。

2. （省略）
3. （省略）
4. 理事（支部選出）は，別に定めるところにより，各支部ごとに選出する。会長は，別に定めるところにより，会長指名理事を若干名選出できる。会長は，総務（若干名），庶務（若干名），会計（若干名），編集（若干名）などの担当理事を指名する。
5. （省略）
6. （省略）

第15条（欠員の補充） 役員に欠員を生じ，補充を必要とするときは，第13条によりこれを選出する。後任者の任期は前任者の残任期間とする。

## 第8章 委員会

第22条（委員会） この学会に，編集委員会，学会賞審査委員会，永年功労者表彰審査委員会を設ける。委員の選出は別に定めるところによる。

2. 会長は，学会活動の活性化，学会運営上の問題点の改善を図るため，随時，委員会（以下，特別委員会という）を設けることができる。会長は，理事会の議をへて，特別委員会の委員長を理事の中から，委員を会員の中から指名する。

## 第 10 章 付則

第 27 条 (施行期日) この会則は 平成 19 年 9 月 11 日から 施行する。

### 役員選出規程

2. 選挙管理委員会を設ける。
    - 1) 選挙管理委員は、庶務担当理事を含む正会員 3 名で構成され、理事会の議をへて会長が委嘱する。委員長は委員の互選により選出する。
    - 2) 選挙管理委員は、会長 (1 名)、副会長 (2 名)、および学会賞審査委員 (15 名) の候補者選出の任にあたる。
    - 3) 選挙管理委員の任期は、改選前年の夏期に開催される理事会から、改選当年度の総会までとする。
  3. 選挙管理委員会は次の手順で公示および選挙を行う。
    - 1) 会長、副会長、学会賞審査委員は、支部長、支部選出理事および支部選出評議員を有権者とする選挙によって候補者を決定する。
    - 2) 投票はまず会長候補について行い、会長候補者が決定した後、副会長および学会賞審査委員の各候補者について実施する。
    - 3) 投票は無記名とし、有権者の過半数の投票があったときその選挙を有効とする。
    - 4) この投票における上位得票者をもってそれぞれの候補者とし、総会の承認をへてそれぞれの役員を決定する。なお、会長にあっては最上位得票者が 2 名以上の場合、副会長および学会賞審査委員にあっては定員数にあたる最下位の得票者が 2 名以上の場合、最年長者をその候補者とする。
  4. 支部選出理事数および支部選出評議員数は、各支部に属する正会員、シルバー会員、学生会員、購読会員の合計数による。支部選出理事の場合はこの合計数が 100 名につき 1 名、支部選出評議員の場合は 30 名につき 1 名とする。端数があるときは 1 名増とする。ただし、ここにいう会員数とは改選に最も近い 8 月 31 日現在の会員数とする。
    - 2) (省略)
- (付則) 本規程は 平成 19 年 9 月 11 日から 適用する。

### 日本農業気象学会賞規程

6. 学会賞受賞者を次の手続きにより選考する。
  - (1) 学会賞を審査するため別に定める審査委員会規程によって審査委員会を設ける。
  - (2) 審査委員会は学術賞候補者、普及賞候補者、功績賞候補者については推薦を正会員、シルバー会員および学生会員に、論文賞候補者、奨励賞候補者については編集委員会、正会員、シルバー会員および学生会員に依頼する。ただし、同一の論文を受賞対象論文として、論文賞と奨励賞の両方に推薦があった場合には、審査委員会が候補者の希望を確認して、いずれか一方の候補者とする。

(付則) 本規程は 平成 19 年度から適用する。

#### 永年功労会員表彰審査委員会規程

2. 委員の定員は、各支部に属する正会員、シルバー会員、学生会員、購読会員の合計数が 100 名につき 1 名とする。端数があるときは 1 名増とする。ただし、ここにいう会員数とは改選に最も近い 8 月 31 日現在の会員数とする。
5. 委員長は委員の互選による。ただし任期は 2 年とし、重任しないものとする。

(付則) 本規程は 平成 19 年度から適用する。